

.....

全学ポートフォリオ通信

http://www.nara-edu.ac.jp/students/portfolio_top.html

.....vol.025 ... 2017.11

こんにちは、全学ポートフォリオサポートデスクです。

「読書の秋」が過ぎ去りつつありますが
今年の秋は刺激をうけた1冊に出会えましたか？

たまたま手に取った本が、偶然にも、
おもしろい本だったらラッキーですね。
授業で読んだ本が、とても面白かった
ということもあるかもしれません。

そうかと思えば、逆に、いろいろ読んでみて、
ようやく出会えることもしばしば。

もし、おもしろい本に出会ったら、
何かに記録しておくことをおすすめします。

学期末のレポートの内容を豊かにしてくれるかもしれません。

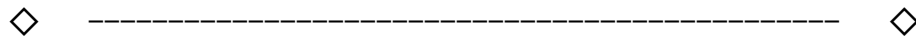
あるいは、なんだかもやもやして、
他の人に話したくなるかもしれません。

今回は、そんなときのために
読書したあとに記録を残す方法の紹介と
「読書」をテーマとした面白い本をご紹介します。

目次

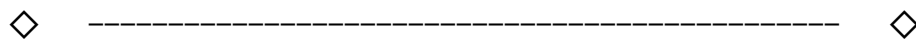
◆ 学生さんへ

- 1 読書記録を残す方法 <デジタル編>
- 2 読書記録を残す方法 <アナログ編>
- 3 読書に関わる面白い本
- 4 ご相談の連絡先はこちらです。



学生さんへ 1

読書記録を残す方法 デジタル編



記録媒体は何でもよいと思います。

手帳、ノート、日記帳、、、

最近は web ツールも充実しています。

web のツールの強みは、検索しやすいことです。

たとえば、「ブックログ」などは画面に本棚があらわれ、
登録した本をそこに並べながら感想のメモを添えるという、

おもしろい読書日記ツールです（無料）。

<http://booklog.jp/>

主に大学図書館を含め、
公共図書館を利用することが多い人には
「カーリル」もおすすめです。

<https://calil.jp/>

「カーリル」は、「読みたいリスト」に
読みたい本を登録していけば、縦断的・横断的に
複数図書館で貸出状況を一覧することができますので
図書検索ツールとしても優秀ですし、
読んだ本のメモを非公開で残すこともできます。

自由度の高いデジタルメモが使いたい人は

「Evernote」もおすすめです。

スマートフォンなどで手軽にメモすれば、
インターネットに接続されたPCからでも
メモを確認することができます。（その逆もできます）
容量に限りがありますが、
ある程度までは無料で使うことができますよ。

<https://evernote.com/intl/jp>

もちろん、「全学ポートフォリオシステム」の
「ポートフォリオを書く」に記入しておくこともできます。
こちらに記録しておくと、
レポートなどで活用しやすいかもしれませんね。

<http://www.nara-edu.ac.jp/files/guide-student2016.pdf>

（参照：pp. 11-13）





学生さんへ 2

読書記録を残す方法 アナログ編

◇ ----- ◇

もちろん、紙媒体で記録を残すこともできます。

「でもどうやって記録に残していったら『使える』記録になるのかな？」

という人におすすめしたいのは、
つぎの本です。

+++++

奥野 宣之

「読書は1冊のノートにまとめなさい」

ダイヤモンド社

+++++

奥野氏がすすめる方法は非常にシンプルで
しかも低コストです。

世の中の「手帳術」系の記事で紹介しているような
おしゃれなノートの利用も心が弾みますが
彼のおすすめは100円のノートです。

そして、趣味の読書というよりも

「学ぶ読書」のノウハウを示していることも特徴的だと思います。

ノート記録の利点である自由度の高さが苦手な人には
つぎのような付箋を使うことをおすすめします。

+++++

キングジム

日記帳 ノリ付きメモ

暮らしのキログブック

+++++

学校の図書館の読書カードのようなデザインの

小さな付箋です。

必要最低限の情報が項目立てられており、

それらに一言ずつメモして、ノートや手帳に貼れば完了です。

授業の参考図書などにも使えるので、

メモして該当ページに貼っておくと

期末レポートを書くときにも学習の記憶が素早く再生されて

よい感じのレポートが書けるかもしれません！

◇ ----- ◇

学生さんへ 3

読書に関わる面白い本

◇ ----- ◇

読書に関わる本は、1冊既に紹介しましたが、

ここでは、それ以外で、2冊紹介します。

1冊目の

+++++

奥野 宣之

「読書は1冊のノートにまとめなさい」

ダイヤモンド社

+++++

と同じように、読書の方法について触れているのが

+++++

M. J. アドラー, C. V. ドーレン
外山滋比古 榎 未知子 訳

「本を読む本」

講談社学術文庫

+++++

です。

どのような本であるか、を簡単に述べると
読書には複数の段階があり、
それらを経ることで確実に
知識を血肉化できる、ということが書かれています。
もちろん、各段階の「読み方」も詳しく書かれています。

そして、上記2冊の本とは一見対称的な提案をしているのが

+++++

ピエール・バイヤール
大浦康介 訳

「読んでいな本について堂々と語る方法」

筑摩書房

+++++

です。

ただ、よくよく読んでいくと
「本を読むな」という主張はみられず

「この本は～が書かれています」

よりも、

「・・・で、あなたはと思う？」

というところを重視している、
という点が、この本のポイントだと思います。

本について語ることは誰にでもできる。
本をきっかけに、自分を語ることに
学ぶことができる学校教育が少ないのではないか

という主張が確認できます。

その本の周辺情報について、さまざまな想像力を働かせ
自分の世界を語る（創造する）

という読み方は、確かに日本人は少し苦手かもしれませんね。
でも、それができれば、読書が数倍楽しくなりそうですね。

◇ ----- ◇

学生さんへ 4

ご相談の連絡先はこちらです

◇ ----- ◇

読書に関する記事をお読みいただき、
いきなり話題が飛びますが、、

たとえば、

「よし、読書したことを、ひとつ
ポートフォリオシステムにも残してみるか！」

と決起したけれども、

「説明書通りにやってみたけれど
うまく投稿できない！」

という事態に直面したら、
ぜひ下記を参考にしてお連絡ください。

▼ 全学ポートフォリオサポートデスク専用アドレス
< dpfsupport@nara-edu.ac.jp >

★ つぎのフォームをメール本文にコピーして
御相談内容を編集してお送りください。

===== メールフォーム =====

== メール本文にコピー&ペーストしてご利用ください ==

お名前 ()

所 属 ()

学籍番号 ()

ご連絡先 ()

お問い合わせの概要

()

※ 要望、質問、システムの不具合の報告、相談等ご自由にご記入ください。

▼ システムの不具合の報告の場合、
上記にプラスして以下の情報も
添えてお送りください。

ご利用機器の種類 例：スマートフォン

()

OS 例：Windows8, MacOSX, Android5 等

()

ブラウザのバージョン 例：InternetExplorer11, GoogleChrome 等

()

問題が生じたメニューのタイトル

例：「ポートフォリオを見る」等

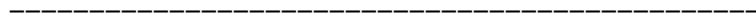
()

操作上の問題が生じた受講科目名

例： ～概論

()

===== メールフォーム終わり =====



発行責任：教育情報システム運用検討部会

全学ポートフォリオシステム運用開発検討チーム

（座長：宮下俊也）

編集責任：全学ポートフォリオサポートデスク

（担当：次世代教員養成センター・望月紫帆）